

H124 専門特殊講義 「読売マスコミ講座」	
英名科目名	Variable Theme in Specialized Area
大学名	立命館大学
連絡先	【衣笠教学課】TEL：075-465-8310
担当教員	柳澤 伸司
開講期間	2021年4月6日（火）～2021年7月21日（水） ＜毎週月曜日＞ 5時限：16:20～17:50 ＜教室案内＞ 「立命館大学の開講科目を受講する皆様へ」から確認してください。 http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html 補講日や祝日授業日など、学年暦は立命館大学HPから確認してください。 http://www.ritsumei.ac.jp/profile/info/calendar/
開講形態	前期・春学期 開講曜日・講時 月曜日 5講時
単位数	2 履修年次 2回生以上
会場	衣笠キャンパス
授業定員	270
単位互換生定員	50 京カレッジ生定員 20
試験・評価方法	【平常点評価】100% 授業内容についてのコメントレポート（60%） 最終レポート（40%） 【備考】 manaba+Rでの出席確認、レポート提出を行ってまいりますので、それに対応できるようにしておいてください。特段の理由がなく授業への30分を超える遅刻、早退は欠席扱いとします。また、授業に参加していないにもかかわらずコメントレポートが提出される、他者に出席受付番号を知らせるなど不正が一度でも確認された場合は本科目を評価外とします。
超過時の選考方法	書類選考
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：43,400円 ・聴講生：25,800円
別途負担費用	なし
その他特記事項	新型コロナウイルス感染症への対応情報について 立命館大学では、新型コロナウイルス感染症に対する独自の行動指針（BCP）を設け、BCPレベルに応じて授業実施形態や入構制限等を判断しています。 立命館大学の行動指針（BCP）や入構制限状況、その新型コロナウイルス感染症への対策等の情報は以下HPからご確認ください。 ＜新型コロナウイルス感染症に関する特設ページ＞ http://www.ritsumei.ac.jp/news/detail/?id=1679#page-title1 シラパスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラパスを確認してください。 http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/gaku/onlineyllabus.htm 【諸手続】（単位互換生のみ） 立命館大学では、4/6（火）から順次春学期の授業が始まります。 本科目の受講を希望する場合、受講が許可される前に立命館大学のシステムを利用するための仮受講用IDを発行します。出願手続きとは別に、下記

ホームページで仮受講の案内を確認し、仮受講用IDの発行手続きを行ってください。 ＜仮受講用ID発行手続案内ホームページ＞ http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 ＜受講手続案内ホームページ＞ http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html
パッケージ科目
低回数受講推奨科目
講義概要・到達目標
【授業の概要】 20世紀を支えてきた巨大メディアの新聞とテレビをめぐる環境は、多メディア、デジタル化時代を迎えて大きく変化している。新聞では、紙媒体に加えネット記事も浸透し、紙媒体を補完する形でインターネット、デジタル化時代に備えている。テレビでは、広告収入を基本とする経営が主流であったが、オンデマンド形式の放送では、番組単位で販売されるなど、新たなビジネスモデルも生まれている。これらの変化は、経営面はもちろんのこと、コンテンツにも多大な影響を与えている。また、2020年に拡がった新型コロナの影響はこれまでの生活環境を大きく変え、国内外の政治、外交、生活をめぐる様々な事象を伝える新聞、テレビの取材と報道の取り組みも変化を余儀なくされた。 本講義では、新型コロナによって大きく変化する環境の中で、テレビ、新聞などの番組、記事が今、どのような課題に取り組み、どのような展望が構想されているのか、21世紀の放送・ジャーナリズムの課題とは何か、新たなメディアとの競合、協調の可能性はどうか、考えることができるのか、コンテンツを巡る経営環境の課題は何か、新たな展開のための戦略とは何か、等々の課題を考察することを通じて教育目標の実現を図る講座とする。 この「読売マスコミ講座」は、変貌するメディア環境をめぐる諸問題を視野に入れて、日本のメディアを牽引する読売新聞と読売テレビの最前線で働く方々の講義を通じて、21世紀のメディアの課題と可能性を具体的に探ることを目的としている。そのため、毎回の授業は、論説・編集委員、記者、広報、ディレクター、プロデューサー、編成マン、事業セクション等多様なプロフェッショナルの方々による、「新聞・テレビの現在と未来」「公共性としてのメディア」をキーワードとする講義から構成される。
【受講生の到達目標】 変貌するメディア環境をめぐる問題点を踏まえて、これからの新聞・テレビメディアの課題と可能性を具体的に説明することができる。
【授業外学習の指示】 各回の講師は読売新聞と読売テレビで仕事をしている一線の方々です。どのように新聞をつくり、どのようにテレビ番組を制作しているのか、毎回のテーマに関わって、新聞紙面に触れ（新聞を読み）、番組を見て、実際の話聞くように心がけてください。受講者は、新聞を読み、テレビ番組を見て参加することを前提とします。
【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 manaba+R,学生との直接対話,その他(教員より別途指示)
【備考】 本講座は、manaba+Rを使って、出席確認、課題レポートの提出（および評価）、関連資料の掲示、質疑応答等を行います。随時、manaba+Rを確認し、事前に資料等が掲示されている場合は、必ずそれを読んで受講するようにしてください。お知らせ等も直前になる場合がありますので、リマインダーなどを設定し、情報を受け取れる環境を整えておくようにしてください。なお、第1回に受講に関する説明をしますので、必ず出席してください。
講義スケジュール
1 概説～日本の新聞とテレビ、現状と課題～ 柳澤 伸司(立命館大学産業社会学部教授)
2

【新聞】新聞活用法とメディアリテラシー
読売新聞大阪本社「新聞のちから」委員会事務局長 戸田 博子 氏

3

【新聞】調査報道
読売新聞大阪本社 社会部次長 関 俊一 氏

4

【新聞】社説、論説とは何か
読売新聞大阪本社 論説・調査研究室長 西井 淳 氏

5

【新聞】写真報道
読売新聞大阪本社 写真部記者 前田 尚紀 氏

6

【新聞】経済報道
読売新聞大阪本社 経済部次長 平井 久之 氏

7

【新聞】科学医療報道
読売新聞大阪本社 科学医療部主任 西原 和紀 氏

8

【新聞】教育報道
読売新聞大阪本社 生活教育部次長 島崎 隆太 氏

9

【テレビ】地上波タイムテーブルの未来
読売テレビ放送 編成部 相島 良樹 氏

10

【テレビ】テレビとインターネットとの統合により、視聴率と接触率
を最大限に高めるマルチメディア戦略
読売テレビ放送 編成部 辻出 国彦 氏

11

【テレビ】テレビ局の営業の仕組み
読売テレビ放送 営業企画部 中野 允嗣 氏

12

【テレビ】テレビ番組の進化～コロナ禍で変わり行くこと、変わらない大切なこと
読売テレビ放送 制作局 竹網 裕博 氏

13

【テレビ】ミヤネ屋の毎日
読売テレビ放送 報道局 高井 望 氏

14

【テレビ】転換期にあるテレビ報道
読売テレビ放送 報道局 山川 友基 氏

15

【テレビ】報道カメラマンの思考
読売テレビ放送 報道局 三井 進矢 氏

本講座は現場の第一線でご活躍されている読売新聞大阪本社、読売
テレビ放送の社員の方に講師としてお越しいただきます。そのため講
師の業務の予定により、テーマや講師の変更、順番の入れ替えの可能
性があります。

【授業実施形態】

<BCPレベル1～2の場合>

全ての授業回を対面（教室）で実施します。第1回目も対面（教室）
で行います。対面で受講できることを基本的な受講条件とします。ラ
イブ配信と録画配信はいずれも行いません。

<BCPレベル3～4の場合>

全ての授業回をライブ配信で行う予定です（ただし連携先の企業の都
合などによって変更の可能性があります）。

教科書

参考書

図説 日本のメディア[新版]伝統メディアはネット
でどう変わるか
著者：藤竹暁・竹下俊郎[編著]
出版社：NHK出版
ISBNコード：9784140912539

備考：必要に応じて授業時、あるいはmanaba+Rで紹
介します。

【参考になる WWW ページ】

YOMIURI ONLINE（読売新聞）

<http://www.yomiuri.co.jp/?from=ygnav>

YTV（読売テレビ放送）<https://www.ytv.co.jp/>

日本新聞協会 <http://www.pressnet.or.jp/>

読売新聞歴史年表 <https://info.yomiuri.co.jp/group/history/nenpyou/index.html>

読売新聞小史

<https://info.yomiuri.co.jp/group/history/index.html>

日本民間放送連盟 <https://www.j-ba.or.jp/>

放送法 http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=325AC0000000132&openerCode=1